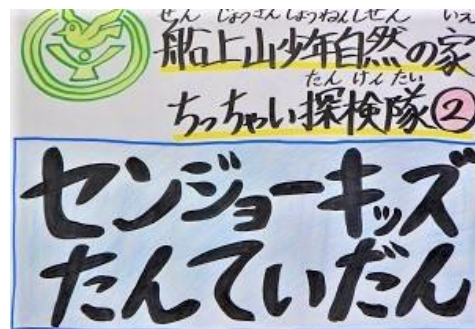


取県立船上山少年自然の家 主催事業

令和3年度「ちっちゃい探検隊②」実施報告書



I 事業の概要

- 1 期日 A日程 令和3年10月30日(土) 日帰り
B日程 令和3年10月31日(日) 日帰り

2 日程

9:30	受付開始
10:00	出会いのつどい
10:20	レクリエーション
10:50	野外オリエンテーリング ※雨天時は館内オリエンテーリング
12:00	昼食
13:00	レクリエーション(暗夜行路)
14:00	缶バッジとショートケーキのプレゼント
15:00	感想記入
15:15	別れのつどい
15:30	解散

3 趣旨

- ・初めて会う人たちとの活動を通して、進んで友だちをつくったり協力したりしようとする力を養う。
- ・船上山の豊かな自然の中で活動を行い、自然への興味関心を高める。

4 対象 小学1年生～3年生 24名ずつ

5 応募者数 A日程 27名 B日程21名

6 当日参加者数 A日程 27名 B日程 19名(当日キャンセル2名)

7 参加費 1人 900円(食事代、活動費、保険料)

8 学生ボランティアスタッフ A日程 4人 B日程 5人



II 実施状況

出会いのつどいでは、今回のちっちゃい探検隊②のテーマ「センジョーキッズたんていだん」を紙芝居で子どもたちに伝えた。今回、船上山に集まった子どもたちのミッションは、ショートケーキを盗んだ犯人をメンダキちゃんと一緒に見つけ出すことである。

出会いの集いの後は、体育館でレクリエーションを行った。1つ目は自己紹介カプラ、班ごとに自己紹介と好きな食べ物を紹介した。2つ目は探偵じゃんけんをした。

その後の野外オリエンテーリングでは、地図に書いてある4か所の星マークのところへ行くとそれぞれミッションがあった。ミッションは「サンダーアタック」「シークレットコード」「パイプライン」「小枝の気持ち」である。どのミッションも一人ではクリアできない協力型ゲームだったので、子どもたちはお互いに声を掛け合いながらゲームに挑んでいた。時には失敗しても、温かく見守ったり、声をかけたりする子どもたちの姿やあきらめずにチャレンジしようとする姿があった。



子どもたちは、午前の活動で無事に犯人を見つけ出すことに成功。昼食を食べ、午後の活動に取り組んだ。



午後に行った活動は、「暗夜行路」である。班ごとに1列になり、闇の中のゴールにあるショートケーキを目指した。活動場所はキャンプ場で、足場も悪い上、斜面になっていたため、どの班もゆっくりと歩を進めていた。やっとの思いでゴールにたどり着き、ショートケーキを手にとると、飛び跳ねて喜んでいた。



その後、自然の家に戻り、メンダキちゃんからお礼のショートケーキと缶バッジがプレゼントされた。

別れのつどいの後、子どもたちはメンダキちゃんバッジをお土産に持ち、迎えに来られた保護者の方と一緒に笑顔で帰っていった。

Ⅲ 総括

1 参加者の感想

- ・ 午後にやった、目隠しをしながらショートケーキを探すことが一番楽しかった。ちっちゃい探検隊で、みんなで協力できてうれしかった。友だちもできてうれしかった。
- ・ ケーキが最後に食べられてうれしかったです。ミッションも解決できたし、メンダキちゃんのケーキも取り戻せて素敵でした。
- ・ 犯人探しも楽しかったし、ロープをつたってケーキを探すのも楽しかったです。

2 成果

- ・ 日帰り2日間で実施できたことにより、感染症対策もできた上に、多くの方に楽しんでいただくことができてよかった。また、2日目には1日目からの修正ができ、ブラッシュアップされていてさらに良かった。
- ・ 暗夜行路が、子どもたちには大変うけていた。参加する子の中には、リピーターも多いので、今までやったことがない新しいことにチャレンジする良さを感じた。
- ・ ストーリーが子どもたちにはまり、どの活動も主体的に取り組んでいた。また、指導員の配役、服装の工夫もストーリー上とても効果的でよかった。

3 課題

- ・ A日程の暗夜行路では、いきなりスタートするのではなく、スモールステップで慣れさせてから始めたほうがよかった。
- ・ 主催事業を担当する指導者が全体に指示を出す前には、みんなが聞ける雰囲気になってから話をしないと、指示が通らないことがあった。活動するときと話を聞くときでメリハリをつけたかった。